



目指すは
江東大家族!!

みつぎ

三次ゆりか 活動報告

平成27年11月発行 第1号

安心・安全な江東区 子育て・産後ケア1番の江東区に

- ひとり親支援（自立支援）
- 子育て（教育）
- 江東大家族（孤独を失くし、経済効果）

わたしが政治をおもしろくする！

約半年間の活動の一部をご報告します！



バイキングでも出演させていただき、江東大家族を作りたいと話しました。



有明マンション連合の交通安全運動に参加させていただきました。



東京都江東児童相談所に視察に行ってきました。療育センターにも視察に行きました。



全ての子供達に温かい家庭を。こども@ホーム推進委員会の立ち上げイベントで約130名がご来場下さいました。



クルベジイベントにて、巨大流しそうめんを食べ、自然とふれあい、農家のお手伝いも親子で参加しています。



8月に毎年行われるマザー・ニアのイベントでママたちのプレゼンを聞いてきました。皆さん輝いてました。



夏休み特別企画《国会ジャングルツアーズ》をしてきました。高校生ボランティアクルーが案内しました。



昭和大学江東豊洲病院にて子育てシンポジウムの会で講演させていただきました。



建設委員会にて交通量調査に参加しました。自転車の通過した数を数え状況などをみて委員会で発言しました。



聞かせて！あなたのオリンピック・パラリンピック子ども編にて、子供達のプレゼンを聞き、とても感動しました。



関東東北豪雨水害被災地支援バザーにて、水害防災セミナーがありました。吹き出し訓練などの体験もしました。



多世代をつなぎ合わせるママヨガを開始しました。月に一度豊洲駅すぐで託児付きで行っています。



当選してから約半年、議員になる前に思っていたより日々仕事に追われ、子育てをし…新人のわたしに、皆さん色々な角度から教えて下さり、育てていただいています。9月より第3定例会があり、初決算委員会がありました。そこで初めて一問一答での質問をしました。以下に一部をご報告致します。

三次 福祉事務所では、ひとり親家庭を支援する給付金事業内容とは？

答弁 自立が困難なひとり親家庭への支援として、就労支援に対する給付金の支給として、高等職業訓練促進給付金の支給と自立支援教育訓練給付金の支給を行っている。

三次 専門学校は、どのような資格取得の支援をしているか。

答弁 保育士、看護師、介護福祉士、理学療法士、理容・美容師等。

三次 待機児童対策について小規模保育を展開するにあたって。

答弁 区としては小規模保育事業について積極的に整備することとは、その裏に3歳児の待機児がふえるという懸念があるので、新制度になったこの4月以降しばらく状況をしっかりと見きわめた上で、必要な部分に必要な分だけ、どのような形で小規模保育事業を展開するか、しばらく検討していく。

三次 今あるものでコーディネートをして居住地のみならず勤務先でも事業所保育も含め、区のコーディネート力を上げて、切れ目のない子育て支援をしていくことが大事。区役所内に保育園等をつくってはいかがか？

答弁 非常に広大なスペースが余っているという状況であればそこを活用しての地域開放型で保育所を整備するという考えもあるが、現時点ではそのようなスペースは見出せない。必要な部分に必要な分だけ、どのような形で小規模保育事業を展開するか、しばらく検討していく。

三次 民間の土地を購入して整備していく、民間の空き物件は、今不動産でも空き物件が多いということなので、空き物件を借りて、整備を促進すべきだと考えるがいかがか？

答弁 まさしくそのとおりだと思うが、民間事業者は保育運営事業者だが、非常に積極的に物件等を探して、保育施設の整備に向けてやってほしいことは、私も非常に強く感じている。待機児童が毎年ゼロになるように努めていきたい。

三次 病児保育について

答弁 豊洲、大島、猿江、新砂の4カ所において運営している。当日キャンセルという形が多すぎて、結果として利用者が、1施設1日1～2名という状況。全体の利用率としては32%という状況。

三次 箱ものを増やすと、予算もかかってきてしまうので、私からの提案としては、例えば民間事業者が行う自宅にきていただける訪問型病児保育事業への助成等をしていくというのはいかがか？

答弁 保護者ニーズがとても高い事業であるので、今後の居宅訪問型病児保育事業は今後の検討課題とするが、まず既存の施設の利用率の向上を目指していきたいと考えている。

三次 新生児・産婦訪問指導事業、妊婦訪問指導事業について

答弁 未熟児や双子以外の多胎児などに関しては、保健所の保健師が昨年885件訪問し、それ以外の出産の方については助産師が3,613件、合わせて4,498件、訪問している。初回の訪問で何度か訪問する必要がある場合には、継続的な訪問指導につなげているところ。一方、妊婦訪問が、対象に限られていて、20歳未満の妊婦や40歳以上の初産の方、双子以上の多胎児の妊婦に対して、保健相談所の保健師が訪問して、昨年度の実数は79件、訪問している。

三次 妊婦訪問の場合、限られた方とってたが、子育ての不安解消と子どもの成長や発達に関する適切なアドバイスを得るためにも、児童虐待防止のためにも対象を幅広くして、必要な方に何でも訪問するというのはいかがか？

答弁 産後からの訪問が基本になっているが、今後は必要に応じて、妊娠中からの不安感など把握できるような事業展開も検討している。

三次 産後うつ対策強化

答弁 4ヶ月健診を受けた保護者に、産後どのようなサービスを期待するかというアンケート調査をした。一番希望が多かったのは、乳腺炎などの予防や実際に困っている場合、自宅まで来てもらって乳房ケアをしてほしい。マッサージの方法や起きたときの対処方法など、乳房ケアの自宅訪問を希望される方が最も多く、次は母子対象のデイケア。赤ちゃんがいるとどこにも出かけられないという閉塞感を打開するために産まれたばかりの赤ちゃんを連れて出かけられるデイケアを行政につかってほしいという希望。赤ちゃんがいるとどこにも出かけられないことがあるので、産まれたばかりの赤ちゃんを預かる一時預かり制度。現状では新生児・産婦訪問は1回ということになっているが、1回とは言わずに、自分はどこにも行けないので、何度も助産師に来てほしいという希望が多いことを7月に把握したので、今後区民のニーズを踏まえて、新しい事業展開を積極的に考えていきたい。

三次 ママをつなげるイベントをしてきたが、その中で子宮頸がん受診を推進させるイベントをした。

若年層の女性は仕事にも忙しく、乳がん、子宮頸がんについて理解していないこともある。母親に関しては子どもが風邪をひいたり熱をだすと仕事を休み病院に連れて行くが母親たちは自分が体調悪くても病院にいかずに仕事をがんばってしまう。気づいたら遅かったという経験をされた方たちもいる。

子どもたちのためにも母親の健康を維持しなくてはならない。

乳がん、子宮頸がんの受診率の推移、あわせて23区の中での状況を伺う。

答弁 受診率等だが、乳がんについては、平成26年度は27.3%。子宮がんについては、平成26年度は27.5%。平成25・24年度の状況は、乳がんが両年度とも23区の中で6位、子宮頸がんについては、両年度ともに23区の中で4位ということで、23区の中では高い方の順位。区としては、50%もしくは40%という形で目標を持っている。23区の中で、この順位だからと甘んじることなく、目標に向かって受診率を高めていかなければいけない。女性特有の部分の検診で、他のがん検診と違って未受診の理由がある。そういった理由も勘案しながら普及・啓発等々に努めて、受診率向上に努めていく。

三次ゆりかプロフィール

1985年5月1日生まれ。江東区立東雲小学校、深川第五中学校、都立紅葉川高校卒業。視覚障がい者だった祖母と父親の元で育つ。23歳で出産、いったん仕事を中断するもシングルマザーとなり起業。預け先に困った経験から自分のように困ってる母親も少なくないのでは・・・と、公私に渡る、子育て・母親支援のイベント企画、事業支援を展開。2015年江東区議会議員選挙 初当選。建設委員、医療介護制度特別委員会 委員

活動歴

- ママパワーが日本を変えると信じ、ママを支える活動J★mothers設立
- BSフジ「ママボンキッキ」レギュラー過去出演
- 書籍「やっぱりゆりかはいくじなし★～ママが楽になる育自の方程式～」



発行人 三次ゆりか / 江東区豊洲 5-5-1-509 / E-MAIL mitsugi@3next.co.jp



Twitter、facebookもやっています！